

1 次の計算をしなさい。

(1)  $\frac{4a}{-5b} + \frac{6a}{-7b}$   
 $= \frac{4a+6a}{-5b-7b}$   
 $= \frac{10a}{-12b}$

(2)  $\frac{-3x^2}{-4x} + \frac{5x}{x^2}$   
 $= \frac{-3x^2+x^2}{-4x+5x}$   
 $= \frac{-2x^2}{x}$

(3)  $\frac{-7x}{+2y} + \frac{6x}{-2y}$   
 $= \frac{-7x+6x}{2y-2y}$   
 $= \frac{-x}{0}$

(4)  $3x + 9y + (7x - y)$   
 $= 3x + 9y + 7x - y$   
 $= 10x + 8y$

(5)  $m - 10n + (-12m + 6n)$   
 $= m - 10n - 12m + 6n$   
 $= -11m - 4n$

(6)  $7x - 2y - (2x + 3y)$   
 $= 7x - 2y - 2x - 3y$   
 $= 5x - 5y$

2 次の2つの式をたしなさい。また、左の式から右の式をひきなさい。 ※式を必ず書くこと!

(1)  $8a - 3b, 5a + 2b$   
 たす  $(8a - 3b) + (5a + 2b)$   
 $= 8a - 3b + 5a + 2b$   
 $= 13a - b$

ひく  $(8a - 3b) - (5a + 2b)$   
 $= 8a - 3b - 5a - 2b$   
 $= 3a - 5b$

かこも忘れない! マイナスのとき、注意!

(2)  $-x + 3y - 5, 2x - y + 7$   
 たす  $(-x + 3y - 5) + (2x - y + 7)$   
 $= -x + 3y - 5 + 2x - y + 7$   
 $= x + 2y + 2$

ひく  $(-x + 3y - 5) - (2x - y + 7)$   
 $= -x + 3y - 5 - 2x + y - 7$   
 $= -3x + 4y - 12$

3 次の計算をしなさい。

(1)  $7(a - b) - (4a + 6b)$   
 $= 7a - 7b - 4a - 6b$   
 $= 3a - 13b$

(2)  $5(3a - 2b) + 2(4a - 3b)$   
 $= 15a - 10b + 8a - 6b$   
 $= 23a - 16b$

(3)  $-4(x + 2y) + 3(x + 5y)$   
 $= -4x - 8y + 3x + 15y$   
 $= -x + 7y$

(4)  $2(4x + 5y) - 5(x - y)$   
 $= 8x + 10y - 5x + 5y$   
 $= 3x + 15y$

(5)  $\frac{1}{5}(2x + 3y) + \frac{1}{3}(5x - 2y)$   
 $= \frac{2}{5}x + \frac{3}{5}y + \frac{5}{3}x - \frac{2}{3}y$   
 $= \frac{2}{5}x + \frac{5}{3}x + \frac{3}{5}y - \frac{2}{3}y$   
 $= \frac{6}{15}x + \frac{25}{15}x + \frac{9}{15}y - \frac{10}{15}y$   
 $= \frac{31}{15}x + \frac{1}{15}y$

(6)  $\frac{2x + y}{3} - \frac{x - 5y}{6}$   
 $= \frac{2(2x + y) - (x - 5y)}{6}$   
 $= \frac{4x + 2y - x + 5y}{6}$   
 $= \frac{3x + 7y}{6}$

6をかけ7  
分母を  
なくするのはダメ!  
できないよ!

4 次の問いに答えなさい。

(1)  $x=2, y=-4$  のとき,  $10x-3y$  の値を求めなさい。

$$10x-3y \text{ に } x=2, y=-4 \text{ を代入して, } 10x-3y = 10 \times 2 - 3 \times (-4) \\ = 20 + 12 =$$

(2)  $x=-1, y=2$  のとき, 次の式の値を求めなさい。

①  $2(x+y)+3(x-y)$   $x=-1, y=2$  を代入  $\textcircled{2} (x-4y)-2(3x+3y)$   $x=-1, y=2$  を代入

$$= 2x+2y+3x-3y \quad 5x(-1)-2 \quad = x-4y-6x-6y \quad -5x(-1)-10 \times 2$$

$$= 5x-y \quad = \quad = -5x-10y \quad =$$

(3)  $a=4, b=-\frac{1}{5}$  のとき,  $7(2a-5b)-5(4a-3b)$  の値を求めなさい。

$$= 14a-35b-20a+15b \quad \rightarrow a=4, b=-\frac{1}{5} \text{ を代入}$$

$$= -6a-20b \quad -6 \times 4 - 20 \times (-\frac{1}{5})$$

$$=$$

5 次の計算をしなさい。

(1)  $8a \times 3b$

(2)  $5x \times (-2x)$

(3)  $-3m \times 6n$

(4)  $(-3x)^2 \times 2x$   $\begin{matrix} (-3x) \times (-3x) \\ = 9x^2 \end{matrix}$

$$= 9x^2 \times 2x$$

$$=$$

(5)  $\frac{2}{3}xy \times \frac{1}{4}x$

$$=$$

(6)  $\frac{2}{5}x \times (-5y^2)$

(7)  $12x \div 2x$

$$= \frac{12x}{2x}$$

$$=$$

(8)  $-14ab \div 2b$

$$= -\frac{14ab}{2b}$$

$$=$$

(9)  $\frac{5}{6}x^2 \div (-\frac{10}{3}x)$

$$= \frac{5}{2}x^2 \times (-\frac{3}{20x})$$

$$=$$

(10)  $-5xy \times 7y \times (-2x)$

$$=$$

(11)  $4a \times 9b \div (-8a)$

$$= \frac{4a}{1} \times \frac{9b}{1} \times (-\frac{1}{8a})$$

$$=$$

(12)  $18xy \div (-3x) \times (-9xy)$

$$= \frac{18xy}{1} \times (-\frac{1}{3x}) \times (-\frac{9xy}{1})$$

$$=$$

(13)  $-12a^2 \div (-6a) \div 2a$

$$= -\frac{12a^2}{1} \times (-\frac{1}{6a}) \times \frac{1}{2a}$$

$$=$$

(14)  $-\frac{6}{13}x^2y \div \frac{9}{4}y \div (-\frac{20}{39}x)$

$$= -\frac{6x^2y}{13} \times \frac{4}{9y} \times (-\frac{39}{20x})$$

$$=$$

6  $a=\frac{1}{3}, b=-2$  のとき,  $3b^2 \div 5ab \times (-5a)^2$  の値を求めなさい。

$$= \frac{3b^2}{1} \times \frac{1}{5ab} \times \frac{25a^2}{1} = 15ab = 15 \times \frac{1}{3} \times (-2)$$

$$=$$

7 次の等式を、[ ] 内の文字について解きなさい。

(1)  $a+b=5$  [a]   
 $a=$    
 ↓ 移項

(2)  $7x-y=1$  [y]   
 $-y=1-7x$    
 $y=$    
 ↓ 移項   
 両辺に  $\times(-1)$

(3)  $4x-8y=2$  [x]   
 $4x=2+8y$    
 $x=\frac{2}{4}+\frac{8}{4}y$    
 $x=$    
 ↓ 移項   
 ↓ 両辺を  $\div 4$    
 ↓ 約分

(4)  $b=2m-n$  [m]   
 $2m-n=l$    
 $2m=l+n$    
 $m=$    
 ↓ 右辺と左辺を  $\div 2$    
 ↓ 両辺を  $\div 2$    
 ↓ 移項   
 ↓ 両辺を  $\div 2$

(5)  $x=7(y+z)$  [z]   
 $7(y+z)=x$    
 $y+z=\frac{x}{7}$    
 $y=$    
 ↓ 右辺と左辺  $\div 7$    
 ↓ 移項   
 ↓ 両辺を  $\div 7$

(6)  $S=4ab$  [a]   
 $4al=S$    
 $a=$    
 ↓ 右辺と左辺を  $\div 4l$    
 ↓ 移項   
 ↓ 両辺を  $\div 4l$

(7)  $V=\frac{1}{3}Sh$  [S]   
 $\frac{1}{3}Sh=V$    
 $Sh=3V$    
 $S=$    
 ↓ 両辺に  $\times 3$    
 ↓ 両辺を  $\div h$

(8)  $x=\frac{1}{2}(y-1)$  [y]   
 $\frac{1}{2}(y-1)=x$    
 $y-1=2x$    
 $y=$    
 ↓ 両辺に  $\times 2$    
 ↓ 移項

(9)  $m=\frac{5a+2b}{7}$  [a]   
 $\frac{5a+2b}{7}=m$    
 $5a+2b=7m$    
 $5a=7m-2b$    
 $a=$    
 ↓ 両辺に  $\times 7$    
 ↓ 移項   
 ↓ 両辺を  $\div 5$

8 次の問いに答えなさい。

(1) 2けたの正の整数と、この整数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数を8倍した数との和は9の倍数になります。 もとの整数の十の位の数をa、一の位の数をbとして、次の問いに答えなさい。  
 ただし、bは0でないものとします。

9×(整数)

① もとの整数を、a, b を使って表しなさい。

$$10 \times \begin{matrix} \uparrow \\ \text{十の位の数} \\ \uparrow \\ a \end{matrix} + \begin{matrix} \uparrow \\ \text{一の位の数} \\ \uparrow \\ b \end{matrix}$$

例

$$\begin{aligned} 52 + 25 \times 8 \\ = 252 \\ = 9 \times 28 \end{aligned}$$

② もとの整数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数を、a, b を使って表しなさい。

③ 上の文章が成り立つ理由を、次のように説明しました。□ にあてはまる式を書きなさい。

[説明]

2けたの正の整数と、この整数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数を8倍した数との和は、

$$\begin{aligned} & \left( \square \right) + 8 \left( \square \right) \\ & = \square \\ & = \square \\ & = \square \left( \square \right) \end{aligned}$$

□ は整数だから、□ (□) は9の倍数である。

よって、示された。

(2) 奇数から偶数をひいた差は奇数になります。その理由を、次のように説明しました。

にあてはまる式を書きなさい。

奇数  $2 \times (\text{整数}) + 1$   
偶数  $2 \times (\text{整数})$

[説明] 2つの整数が奇数と偶数のとき、 $m, n$  を整数とすると、

奇数は , 偶数は  と表される。

このとき、奇数から偶数をひいた差は、

$$\begin{aligned} & (\quad) - (\quad) \\ & = \quad \\ & = \square (\quad) + 1 \end{aligned}$$

は整数だから、 $\square (\quad) + 1$  は奇数である。  
よって、示された。

(3) 2つの整数が、ともに奇数のとき、その和は偶数になる理由を、説明しなさい。

[説明] 2つの整数がともに奇数のとき、 $m, n$  を整数とすると、

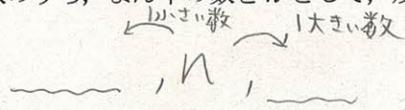
これらは   $2m + 1$ ,   $2n + 1$  と表される。

このとき、2つの奇数の和は、

$$\begin{aligned} & (\quad) + (\quad) \\ & = \end{aligned}$$

(4) 連続する3つの整数の和は3の倍数になる。次の問いに答えなさい。

① 連続する3つの整数のうち、まん中の数を  $n$  として、残りの2つの数を  $n$  を使って表しなさい。



② まん中の数を  $n$  として、連続する3つの整数の和は3の倍数になることを説明しなさい。

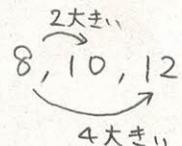
まん中の数を  $n$  とすると、連続する3つの数は ,  $n$ ,  と表される。

このとき、3つの整数の和は、

$$\begin{aligned} & (\quad) + n + (\quad) \\ & = \end{aligned}$$

(5) 連続する3つの偶数の和は6の倍数になることを説明しなさい。

例



[説明] 整数  $n$  を使って、もっとも小さい偶数を  $2n$  と表すと、

残りの2つの偶数は ,  と表される。

このとき、3つの偶数の和は、

$$2n + (\quad) + (\quad)$$

=

1 次の計算をなさい。 *係数がそろっているのでそのままひきます。*

(1) 
$$\begin{cases} x+5y=8 \dots ① \\ x+y=4 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ①-② \\ \hline 4y=4 \end{array}$$

(2) 
$$\begin{cases} 5x+y=7 \dots ① \\ 3x+y=5 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ①-② \\ \hline \end{array}$$

(3) 
$$\begin{cases} x+3y=-20 \dots ① \\ x-2y=10 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ①-② \\ \hline \end{array}$$

(4) 
$$\begin{cases} x+y=5 \dots ① \\ x-y=9 \dots ② \end{cases}$$
 *係数は符号がちがうなのでそのままたします。*  

$$\begin{array}{r} ①+② \\ \hline 2x=14 \end{array}$$

(5) 
$$\begin{cases} 3x+2y=6 \dots ① \\ x+2y=10 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ①+② \\ \hline \end{array}$$

(6) 
$$\begin{cases} x+3y=4 \dots ① \\ -x+y=0 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ①+② \\ \hline \end{array}$$

(7) 
$$\begin{cases} 3x-2y=-7 \dots ① \\ 4x-y=-6 \dots ② \end{cases}$$
 *係数がそろっていないので片方の式を何倍かします*  

$$\begin{array}{r} ② \times 2 \\ \hline 8x-2y=-12 \dots ②' \\ ②'-① \\ \hline -5x=-5 \end{array}$$

(8) 
$$\begin{cases} 2x-y=6 \dots ① \\ 3x+2y=2 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 2 \\ \hline 4x-2y=12 \dots ①' \\ ①'+② \\ \hline \end{array}$$

(9) 
$$\begin{cases} x+2y=-1 \dots ① \\ 2x-3y=12 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 2 \\ \hline 2x+4y=-2 \dots ①' \\ ①'-② \\ \hline \end{array}$$

(10) 
$$\begin{cases} 4x-3y=8 \dots ① \\ 2x-7y=-18 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ② \times 2 \\ \hline 4x-14y=-36 \dots ②' \\ ①-②' \\ \hline \end{array}$$

(11) 
$$\begin{cases} 3x+7y=12 \dots ① \\ x-2y=4 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ② \times 3 \\ \hline 3x-6y=12 \dots ②' \\ ①-②' \\ \hline \end{array}$$

(12) 
$$\begin{cases} 2x+3y=1 \dots ① \\ 3x+4y=2 \dots ② \end{cases}$$
 *係数がそろっていないので2つの式を何倍かします*  

$$\begin{array}{r} ① \times 3 \\ \hline 6x+9y=3 \dots ①' \\ ② \times 2 \\ \hline 6x+8y=4 \dots ②' \\ ①'-②' \\ \hline \end{array}$$

(13) 
$$\begin{cases} 5x-2y=19 \dots ① \\ 3x+4y=1 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 2 \\ \hline 10x-4y=38 \dots ①' \\ ①'+② \\ \hline \end{array}$$

(14) 
$$\begin{cases} 5x+3y=22 \dots ① \\ 7x+4y=30 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 4 \\ \hline 20x+12y=88 \dots ①' \\ ② \times 3 \\ \hline 21x+12y=90 \dots ②' \\ ②'-①' \\ \hline \end{array}$$

(15) 
$$\begin{cases} 8x-5y=-14 \dots ① \\ 3x+2y=-13 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 2 \\ \hline 16x-10y=-28 \dots ①' \\ ② \times 5 \\ \hline 15x+10y=-65 \dots ②' \\ ①'+②' \\ \hline \end{array}$$

(16) 
$$\begin{cases} 4x-2y=5 \dots ① \\ 7x+5y=-4 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 5 \\ \hline 20x-10y=25 \dots ①' \\ ② \times 2 \\ \hline 14x+10y=-8 \dots ②' \\ ①'+②' \\ \hline \end{array}$$

(17) 
$$\begin{cases} 2x+3y=-2 \dots ① \\ -5x-9y=2 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 3 \\ \hline 6x+9y=-6 \dots ①' \\ ①'+② \\ \hline \end{array}$$

(18) 
$$\begin{cases} 5x-6y=32 \dots ① \\ 13x-10y=44 \dots ② \end{cases}$$
  

$$\begin{array}{r} ① \times 5 \\ \hline 25x-30y=160 \dots ①' \\ ② \times 3 \\ \hline 39x-30y=132 \dots ②' \\ ①'-②' \\ \hline \end{array}$$

(19)  $\begin{cases} y = 2x & \dots ① \\ 3x + y = 10 & \dots ② \end{cases}$  *yの代わりに2xをおきかえす*

①を②に代入  
 $3x + 2x = 10$

(20)  $\begin{cases} x + 4y = 1 & \dots ① \\ x = 5 - 2y & \dots ② \end{cases}$

②を①に代入  
 $5 - 2y + 4y = 1$

(21)  $\begin{cases} 3x - y = 1 & \dots ① \\ y = 5 - 3x & \dots ② \end{cases}$

②を①に代入  
 $3x - (5 - 3x) = 1$

(22)  $\begin{cases} y = -3x + 5 & \dots ① \\ y = 4 - x & \dots ② \end{cases}$

①を②に代入  
 $-3x + 5 = 4 - x$

(23)  $\begin{cases} 3x = 5y & \dots ① \\ 3x + 4y = 9 & \dots ② \end{cases}$

①を②に代入  
 $5y + 4y = 9$

(24)  $\begin{cases} 2y = x - 4 & \dots ① \\ 3x - 2y = -8 & \dots ② \end{cases}$

①を②に代入  
 $3x - (x - 4) = -8$

(25)  $\begin{cases} x + 4y = 19 & \dots ① \\ x + y - 7 = 0 & \dots ② \end{cases}$

②より  $x + y = 7 \dots ②'$   
 $① - ②'$

(26)  $\begin{cases} 2x + y = x + 4 & \dots ① \\ x - y = 2 & \dots ② \end{cases}$

①より  $x + y = 4 \dots ①'$   
 $①' + ②$

(27)  $\begin{cases} x + 1 = 3y & \dots ① \\ 2x - y = 8 & \dots ② \end{cases}$

①より  $x - 3y = -1 \dots ①'$   
 $①' \times 2 \quad 2x - 6y = -2 \dots ①''$   
 $② - ①''$

(28)  $\begin{cases} 2(x - y) = -4 & \dots ① \\ 2x - y = 1 & \dots ② \end{cases}$  *加えてはすして整理する*

①より  $x - y = -2 \dots ①'$   
 $② - ①'$

(29)  $\begin{cases} 2x + 7y = 16 & \dots ① \\ 2(x + y) = y + 4 & \dots ② \end{cases}$

②より  $2x + 2y = y + 4$   
 $2x + y = 4 \dots ②'$   
 $① - ②'$

(30)  $\begin{cases} 3x + 2y = 17 & \dots ① \\ 2(x + y) = x + 7 & \dots ② \end{cases}$

②より  $2x + 2y = x + 7$   
 $x + 2y = 7 \dots ②'$   
 $① - ②'$

(31)  $\begin{cases} 3x + y = -1 & \dots ① \\ 4(x - y) + 3 = -9 & \dots ② \end{cases}$

②より  $4x - 4y = -12$   
 $x - y = -3 \dots ②'$   
 $① + ②'$

(32)  $\begin{cases} 2(3x - y) = 5x + y + 11 & \dots ① \\ 2x - 3y - 16 = 0 & \dots ② \end{cases}$

①より  $6x - 2y = 5x + y + 11$   
 $x - 3y = 11 \dots ①'$   
 $② \times 3 \quad 2x - 3y = 16 \dots ②'$   
 $②' - ①'$

分母の最小公倍数をかけた  
解を求めよ

$$(33) \begin{cases} \frac{x}{4} + \frac{y}{3} = 1 \dots ① \\ x + y = 5 \dots ② \end{cases}$$

①×12  $3x + 4y = 12 \dots ①'$   
 ②×3  $3x + 3y = 15 \dots ②'$   
 ①'-②'

$$(34) \begin{cases} 7x + 2y = 18 \dots ① \\ \frac{1}{2}x + \frac{1}{5}y = 1 \dots ② \end{cases}$$

②×10  $5x + 2y = 10 \dots ②'$   
 ①-②'

$$(35) \begin{cases} \frac{x}{4} - \frac{y}{5} = 1 \dots ① \\ 3x + 4y = -52 \dots ② \end{cases}$$

①×20  $5x - 4y = 20 \dots ①'$   
 ①'+②

$$(36) \begin{cases} x + y = 11 \dots ① \\ \frac{8}{100}x + \frac{9}{100}y = 1 \dots ② \end{cases}$$

②×100  $8x + 9y = 100 \dots ②'$   
 ①×8  $8x + 8y = 88 \dots ①'$   
 ②'-①'

両辺10を掛けて小数を整数に

$$(37) \begin{cases} 0.2x - 0.4y = 0.3 \dots ① \\ 2x - y = 6 \dots ② \end{cases}$$

①×10  $2x - 4y = 3 \dots ①'$   
 ①'-②

$$(38) \begin{cases} \frac{x}{2} - \frac{y}{3} = -3 \dots ① \\ 9x + 2 = 2(x - y) \dots ② \end{cases}$$

①×6  $3x - 2y = -18 \dots ①'$   
 ②変  $9x + 2 = 2x - 2y$   
 $7x + 2y = -2 \dots ②'$   
 ①'+②'

$$(39) \begin{cases} 0.3x + 0.2y = 1 \dots ① \\ \frac{5}{2}x + \frac{2}{3}y = \frac{1}{6} \dots ② \end{cases}$$

①×10  $3x + 2y = 10 \dots ①'$   
 ②×6  $15x + 4y = 1 \dots ②'$   
 ①'×2  $6x + 4y = 20 \dots ①''$   
 ②'-①''

2つを組み合わせ  
連立方程式を作ります

$$(40) \quad \boxed{5x - 2y = 3x - 4y - 6 = 20}$$

$5x - 2y = 20 \dots ①$   
 $3x - 4y - 6 = 20 \dots ②$   
 ②変  $3x - 4y = 26 \dots ②'$   
 ①×2  $10x - 4y = 40 \dots ①'$   
 ①'-②'

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 1個90円のリンゴと1個40円のミカンを合わせて30個買って、1800円払った。買ったリンゴの個数を $x$ 個、ミカンの個数を $y$ 個として、次の問いに答えなさい。

- ① 個数の関係についての方程式をつくりなさい。

$$(リンゴの個数) + (ミカンの個数) = 30個$$

- ② 代金の関係についての方程式をつくりなさい。

$$90円 \times (リンゴの個数) + 40円 \times (ミカンの個数) = 1800円$$

- ③ リンゴとミカンをそれぞれ何個買ったか求めなさい。

{

- (2) ある美術館に、子どもと大人あわせて9人で入ったところ、入館料は全部で8400円でした。

この美術館の入館料は、子ども1人800円、大人1人1100円である。

子どもと大人の人数は、それぞれ何人か求めなさい。

子どもを $x$ 人、大人を $y$ 人とすると、

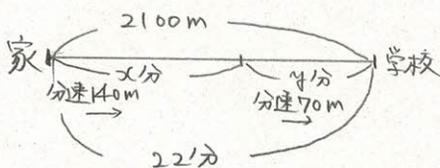
$$\begin{cases} (子どもの人数) + (大人の人数) = 9人 \\ (子どもの入館料の合計) + (大人の入館料の合計) = 8400円 \end{cases}$$

- (3) ある中学校の昨年度の卓球部の部員数は45人でしたが、今年度は昨年度に比べて、男子が8%減少し、女子が20%増加したので、全体では2人増加しました。昨年度の卓球部の男子、女子の部員数をそれぞれ求めなさい。

昨年度の卓球部の部員数を、男子 $x$ 人、女子 $y$ 人とすると、

$$\begin{cases} (昨年の男子) + (昨年の女子) = 45人 \\ (今年の男子) + (今年の女子) = (昨年の人数) + 2 \end{cases}$$

- (4) 服部くんは家から~~1200~~<sup>2100</sup>m離れた学校に行くのに、はじめは分速140mで走り、途中から分速70mで歩いたところ、22分かかった。服部くんが走った時間と歩いた時間をそれぞれ何分か求めなさい。



服部くんが走った時間を $x$ 分、歩いた時間を $y$ 分とすると、

$$\begin{cases} (走った時間) + (歩いた時間) = 22分 \\ (走った距離) + (歩いた距離) = 2100m \end{cases}$$

(5) 2けたの自然数がある。この数の十の位の数と一の位の数の和は11になる。また、十の位の数と一の位の数を  
入れかえてできる数は もとの数より9大きくなる。

もとの自然数の十の位の数を  $x$ 、一の位の数を  $y$  として、次の問いに答えなさい。

2けたの自然数  
 $10 \times (\text{十の位の数}) + (\text{一の位の数})$

① ~~~~~より、 $x, y$  の関係を等式に表しなさい。  
 $(\text{十の位の数}) + (\text{一の位の数}) = 11$

② =====より、 $x, y$  の関係を等式に表しなさい。  
 $(\text{入れかえてできる数}) = (\text{もとの数}) + 9$

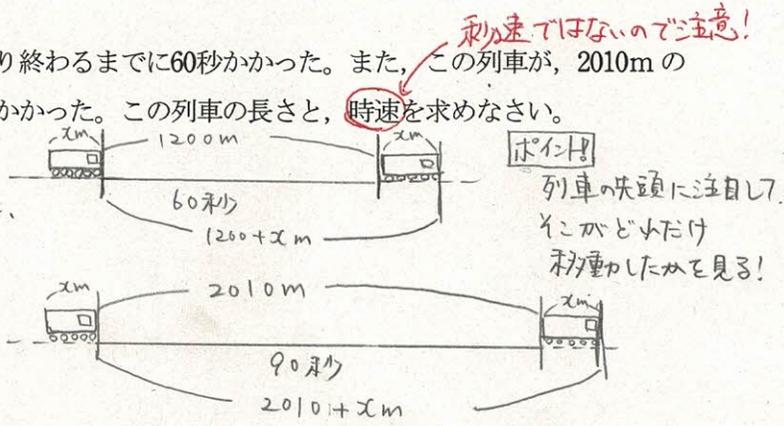
③ もとの自然数を求めなさい。  
 $\{$

(6) ある列車が、1200mの鉄橋を渡りはじめてから渡り終わるまでに60秒かかった。また、この列車が、2010mの  
トンネルに入りはじめてから出てしまうまでに90秒かかった。この列車の長さ、時速を求めなさい。

$(\text{道のり}) = (\text{速さ}) \times (\text{時間})$

列車の長さを  $x$  m、速さを 秒速  $y$  m とすると、

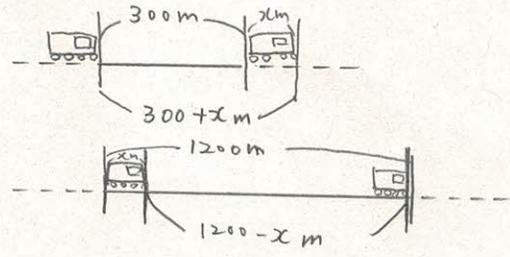
$\{$



(7) 300mの鉄橋に渡りはじめてから渡り終えるまでに10秒かかり、1200mのトンネルに完全に隠れていたのは20秒でした。この列車の長さ、秒速を求めなさい。

列車の長さを  $x$  m、速さを 秒速  $y$  m とすると、

$\{$



(8) 15%の食塩水と5%の食塩水を混ぜて、8%の食塩水を600gつくりたい。

2種類の食塩水をそれぞれ何gずつ混ぜたらよいか求めなさい。

15%の食塩水を  $x$  g、8%の食塩水を  $y$  g 混ぜるとすると、

	15%	5%	8%	
食塩水	$x$ g	$+$	$y$ g	$= 600$ g
食塩	$\frac{15}{100} \times x$ g	$+$	$\frac{5}{100} \times y$ g	$= \frac{8}{100} \times 600$ g

$\{$

(9) 連立方程式  $\begin{cases} 3x + ay = 2 & \text{--- ①} \\ ax + by = 27 & \text{--- ②} \end{cases}$  の解が、 $(x, y) = (3, -1)$  のとき、 $a, b$  の値を求めなさい。

①に  $(x, y) = (3, -1)$  を代入  
 $3 \times 3 + a \times (-1) = 2$   
 $9 - a = 2$   
 $-a = 2 - 9$   
 $-a = -7$   
 $a = 7$  ... ③

②に  $(x, y) = (3, -1)$  を代入  
 $3a - b = 27$   
 ③の  $a = 7$  を代入  
 $3 \times 7 - b = 27$   
 $=$

# 第2学年 数学 夏休み&課題テストの課題 ボーナス編

※ 10ページから12ページは全員への課題ではありません。ただし、しっかり取り組みば加点されます。レベルの高い問題ですが、やっておけば力になります。

(1) 図1のように並べられた6つの○の中に、次の手順にしたがって数字を書く。

- ① 一段目の3つの○の中に、連続する3つの整数を左から小さい順に書く。
- ② 二段目の2つの○の中に、一段目のとなりあう2つの整数の和をそれぞれ書く。
- ③ 三段目の○の中に、二段目の整数の和を書く。

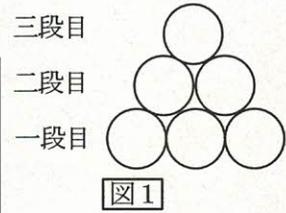
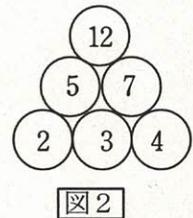
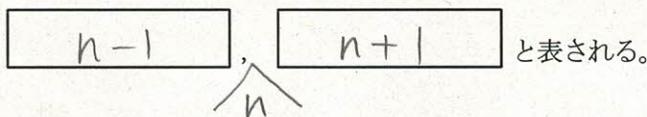


図2は、一段目の○の中に2, 3, 4を書いた場合の例である。  
このとき、三段目に書いた整数は、いつも一段目のまん中に書いた整数の4倍になることを説明したい。次の説明の続きを書きなさい。



[説明] 一段目のまん中の整数を  $n$  とすると、一段目の整数は左から小さい順に、



このとき、二段目の整数は、左から順に、

$$\begin{aligned} ( \quad ) + ( \quad ) &= \text{①} \\ + ( \quad ) &= \text{②} \end{aligned} \quad \text{となり。}$$

三段目の整数は、

$$(\text{①}) + (\text{②}) =$$

(2) 円柱Aの底面の半径を3倍にし、高さを $\frac{1}{3}$ にした円柱Bをつくる時、Bの体積はAの体積の何倍になりますか。(ヒント: 円柱Aの底面の半径を  $r$ 、高さを  $h$  として、AとBの体積を出してみよう!)

$$\text{円柱Aの体積} = \pi r^2 h$$

$$\begin{aligned} \text{円柱Bの体積} &= \pi \times (3r)^2 \times \frac{1}{3} h \\ &= \end{aligned}$$

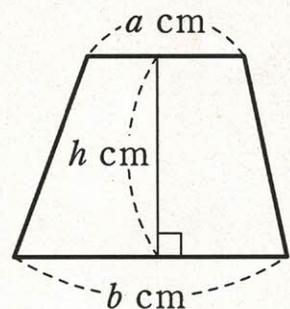
(3) 上底が  $a$  cm、下底が  $b$  cm、高さが  $h$  cm の台形の面積を  $S$  cm<sup>2</sup> とします。

このとき、高さ  $h$  を  $a$ 、 $b$ 、 $S$  を使って表しなさい。

(ヒント: 台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2 )

$$S = (a + b) \times h \div 2$$

$$S = \frac{(a + b)h}{2}$$

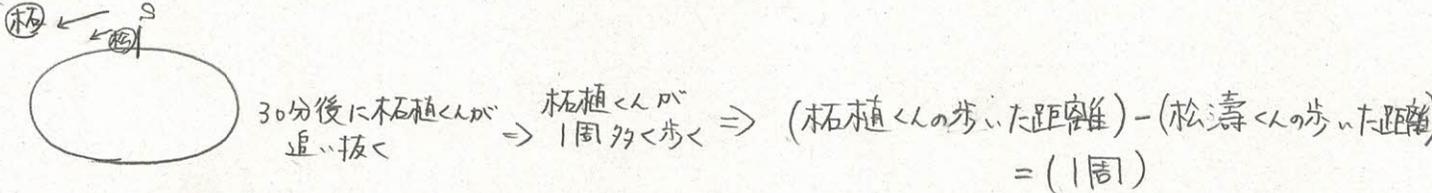


- (4) 周囲1kmの池のまわりを、柘植くんと松濤くんの2人が一定の速さで歩くとき、同時に同じ場所を出発して、反対の方向にまわると6分後に会い、同じ方向にまわると30分後に柘植くんが松濤くんを1周追い抜く。

2人の歩く速さをそれぞれ求めなさい。

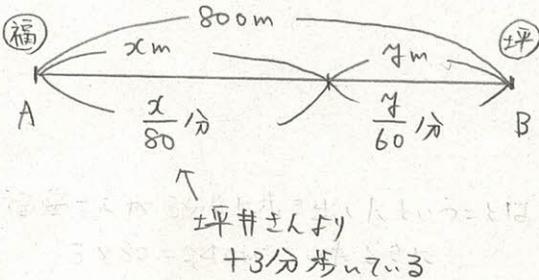


$$(\text{柘植くんの歩いた距離}) + (\text{松濤くんの歩いた距離}) = (1 \text{ 周})$$



- (5) 2つの地点A, Bがあり、A地点からB地点までの道のりは800mである。福留さんはA地点からB地点へ向かって歩き出し、その3分後に坪井さんがB地点からA地点に向かって歩き出して途中で2人は出会った。福留さんの歩く速さを毎分80m, 坪井さんの歩く速さを毎分60mとするとき、次の問いに答えなさい。

- ① 福留さんが歩いた道のりを  $x$  m, 坪井さんが歩いた道のりを  $y$  mとして、2人がそれぞれ歩き出して会おうまでに歩いた道のりを求めなさい。



- ② 2人が出会ったのは、福留さんが歩き出してから何分後ですか。

- (6) 濃度のわからない食塩水AとBがある。Aを200gと、Bを100g混ぜると10%の食塩水になり、Aを100gと、Bを500g混ぜると16%の食塩水になる。A, Bそれぞれの濃度を求めなさい。

$$\begin{array}{|c|} \hline x\% \\ \hline 200g \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline y\% \\ \hline 100g \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 10\% \\ \hline 300g \\ \hline \end{array}$$

$$\text{塩} \quad \frac{x}{100} \times 200g + \frac{y}{100} \times 100g = \frac{10}{100} \times 300g$$

$$\begin{array}{|c|} \hline x\% \\ \hline 100g \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline y\% \\ \hline 500g \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 16\% \\ \hline 600g \\ \hline \end{array}$$

$$\text{塩} \quad \frac{x}{100} \times 100g + \frac{y}{100} \times 500g = \frac{16}{100} \times 600g$$

(7) 連立方程式  $\begin{cases} -ax+by=0 & \dots \textcircled{1} \\ bx-ay=6 & \dots \textcircled{2} \end{cases}$  の解が、 $(x, y)=(2, -1)$  のとき、 $a, b$  の値を求めなさい。

①, ② に  $(x, y)=(2, -1)$  を代入

$$\begin{cases} -2a-b=0 \\ 2b+a=6 \end{cases}$$

①に代入

$$-2a-b=0 \dots \textcircled{3}$$

②に代入

$$2b+a=6 \dots \textcircled{4}$$

③, ④ で連立方程式をつくり、  
 $a, b$  について解く。

(8) 次の2つの連立方程式が同じ解をもつとき、 $a, b$  の値を求めなさい。

$$\begin{cases} 2x-y=7 \\ ax-by=14 \end{cases}$$

$$\begin{cases} bx+ay=12 \\ 3x+2y=7 \end{cases}$$

同じ解をもつので、

$$\begin{cases} 2x-y=7 \\ 3x+2y=7 \end{cases}$$

を解くことができる。

これを解いて、 $x, y$  を求め

$$\begin{cases} ax-by=14 \\ bx+ay=12 \end{cases}$$

に  $x, y$  を代入して、

$a, b$  の連立方程式として解く。